

市町ごみ処理カルテの活用促進に関する当面の対応

- 市町がごみ処理を効率的・効果的に運営するために、ごみ処理の実態や経費面の観点からの活用資料となる「市町ごみ処理カルテ」を作成し、市町に活用を促していました。
- 平成24年12月に実施した市町等へのアンケート調査（ごみ処理カルテの活用状況）結果では、「全く活用していない」と回答した市町等が6割（回答29市町中18市町）でした。
活用してない理由としては「分析結果の活用方法が分からない」が最も多く、今後の活用予定について「活用していきたい」と回答した市町等は5割に留まっていました。
- ごみ処理カルテの活用を進めるため、早急に市町のニーズを把握し、ニーズに呼応した活用促進方法について市町に説明を行います。
具体的な対応は、以下のとおりとします。

市町のニーズ調査

- ・調査市町 複数市町 ※人口が多い又はごみ処理体制を変更する2～3市町を念頭
- ・調査時期 25年1月中下旬
- ・調査内容 カルテに関する市町の現状認識、ニーズ、活用に向けた意見交換

全市町への説明

市町のニーズに関する対応整理を行った上で、市町行政連絡会議の場を活用して、ごみ処理カルテの活用促進について説明を実施

- ・開催時期 25年2月頃
- ・説明内容 ごみ処理カルテの概要、指標値を向上するための対応方法、意見交換等

（参考）ごみ処理カルテの指標と対応施策

- コスト（指標5）と3R推進（指標1～4）の観点から効率的・効果的な処理体制を構築
- 指標1（人口一人一日当たりごみ総排出量）家庭ごみ有料化、排出削減に関する普及啓発、容器包装の簡素化の簡素化等
- 指標2（資源化率）分別の徹底、回収物の資源化促進等
- 指標3（資源としての再利用率）分別の徹底、回収物の資源化促進、生ごみ等のリサイクル等
- 指標4（廃棄物のうち最終処分される割合）分別の徹底、回収物の資源化促進等
- 指標5（人口一人当たりの年間処理経費）各経費コスト（収集、中間処理、最終処分、その他）の削減

添付資料

ごみ処理カルテ総括表シートの例